

3.2 小学校中学年 (1)

Ⅰ 対処行動を知る 「いろいろな避難場所を知ろう【てんでんこ2】」	
指導する学年	小学校3年生
指導する時間 (時数)	特別活動・学級活動(1時間)
教育目標	地震や津波の恐ろしさを知り、津波から命を守るためには、日頃からどのようなことをしておかなければならないのかについて関心をもつ。
資料する資料	【動画-01】2011年東日本大震災 【写真-01】1944年昭和東南海地震津波による尾鷲市の被災 【写真-12】津波緊急避難ビルの例 【資料-11】津波に関する標識
関連する 教科・行事等	【小3社会科】1 ◎もっといろいろ知りたいね 1 学校のまわり

【導入】-----

(1) 東日本大震災の津波の動画を見て、津波の恐ろしさについてイメージをもつ。



【動画-01】[4:38]
2011年東日本大震災(岩手県釜石市)
【1】「津波によって街が壊滅する様子」



【動画-01】[2:39]
2011年東日本大震災(宮城県気仙沼市)
【3】「津波が街中に襲来する様子」

(2) 過去の津波による尾鷲の被災の様子を見せて、近い将来、尾鷲に津波が来る可能性が高いことを復習する。

→多くの犠牲者がでた地震や津波が釜石に襲来してきた

ことを確認する(尾鷲市の犠牲者数は以下の通り)

- ・1944年(昭和19年)東南海地震 65人
- ・1946年(昭和21年)南海地震
- ・1960年(昭和35年)チリ地震

→過去にあったような大きな地震や津波が近い将来、

再び尾鷲に襲ってくることを確認する

- ・東南海・南海地震 今後30年で60～70%の確率で発生



【写真-01】[17枚] 1944年
昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害

(3) 動画を見て、気付いたことを話し合う。

→発言の中から、「津波についての知識の有無が命を左右した」ことをおさえる

→「どのようにすれば津波から命を守れるのだろうか」という課題意識を持たせる

(4) 学習課題を把握する。

【展開】

(1) 津波から命を守るためには、知識としてどのようなことが必要か考える。

- ①どのように避難すればよいか？（避難の方法）
- ②どこに避難すればよいか？（避難場所）

(2) 避難場所に関する知識として、標識を確認する。

- 左：津波注意 中：津波避難場所 右：津波避難ビル
- 津波避難ビルの標識がある場所の例を紹介



【写真-12】[1枚]
津波緊急避難ビルの例

(3) 「津波てんでんこ」の意味を復習する。

- 「津波てんでんこ」とは、「津波がくるときには、親、子どものこともかまわずに、てんでばらばらに早く高台へ避難しろ」という意味であったことを復習する。



【資料-11】[1枚]
津波に関する標識

(4) 本当にてんでばらばらに避難することができるか、話し合う。

- 「みんなが登下校中などで、おうちの人と一緒にいないときに、地震が発生したら、みんなは避難するだろうけど、おうちの人はどうするだろうか？」と子供たちに問う
- 発言の中から、「迎えに来る、探しに来る」ことをおさえる

(5) 家族みんなで避難するために、日頃からしておかなければならないことを理解する。

- 家族みんなでいざというときの避難場所について、相談しておき、どのような状況であっても、てんでばらばらに避難することができるように、日頃から備えておくことをおさえる

【まとめ】

(1) 学習して気付いたことをプリント等に記入する。

(2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

- 津波から身を守るためには、どんな場所に避難すべきかを知る必要があることをおさえる

(3) 自分の住んでいる地域の避難場所を調べて、家族で相談しておくように伝える。

- 家族に聞いたり、地図を見たりするなどの調べる方法も教える

【確認】

(1) 津波から身を守るためには、避難方法や避難場所を知る必要があることを理解することができたか？

3.2 小学校中学年 (2)

Ⅰ 対処行動を知る 「地震から身を守る方法を知ろう」	
指導する学年	小学校3年生
指導する時間 (時数)	特別活動・学級活動(1時間)
教育目標	地震や津波の恐ろしさを知り、地震から身を守るための正しい行動を知る。
資料する資料	【動画-01】2011年東日本大震災 【写真-01】1944年昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害 【資料-10】地震時に身を守るための正しい行動
関連する 教科・行事等	【小3社会科】安全なくらしとまちづくり

【導入】-----

(1) 東日本大震災の動画を見て、地震津波の恐ろしさを知り、感想を発表する。



- 発言の中から、「津波から命を守るためには避難が必要」であることをおさえる
- 「津波が来たとき、すぐに避難するためには何が必要か」を問いかける→生き埋めにならないこと!
- 津波の前には、大きな揺れの地震がある(小さな揺れの地震でも津波が来る場合があることに注意)ことを指摘する

(2) 学習課題を把握する。

【展開】

(1) 過去の尾鷲市の被災状況と、今後、東海・東南海地震の起こる確率を確認する。

→多くの犠牲者がでた地震や津波が尾鷲に襲来してきた

ことを確認する（尾鷲市の犠牲者数は以下の通り）

- ・1944年（昭和19年）東南海地震 65人
- ・1946年（昭和21年）南海地震
- ・1960年（昭和35年）チリ地震

→過去にあったような大きな地震や津波が近い将来、

再び尾鷲に襲ってくることを確認する

- ・東南海・南海地震 今後30年で60～70%の確率で発生



【写真-01】[17枚] 1944年
昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害

(2) いろいろな場所があるときを想定し、地震が起きたときやゆれがおさまった後の行動を確認する。

→以下の各状況について、地震時の行動を確認する

- ①自宅にいた場合
- ②学校にいた場合
- ③スーパーやデパートにいた場合
- ④劇場やホールにいた場合
- ⑤住宅街にいた場合
- ⑥海岸にいた場合
- ⑦商店街にいた場合
- ⑧車の中にいた場合
- ⑨電車やバスの中にいた場合
- ⑩山の中にいた場合
- ⑪エレベーターの中にいた場合、など



【資料-10】[8枚]
地震時に身を守るための正しい行動

【まとめ】

(1) 学習して気付いたことをプリント等に記入する。

(2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

→大きな揺れの地震によって、生き埋めにならないようにする行動を覚えておくこと

→身近な場所では、家具などが倒れてこないような対策を日頃から行っておく必要があることをおさえる

【確認】

(1) 地震から身を守る方法を理解することができたか？

3.2 小学校中学年 (3)

Ⅰ 対処行動を知る 「防災マップづくり【2】」	
指導する学年	小学校3年生
指導する時間 (時数)	社会(3時間)
教育目標	今までに学習した避難場所について、地図にまとめて振り返ることにより、津波の避難について理解を深める。
資料する資料	【資料-01】尾鷲市防災マップ 【資料-17】想定を超えた津波による浸水域 【地図-01】学区の地図
関連する 教科・行事等	【小3社会科】1 ④もっといろいろ知りたいね 1 学校のまわり

【導入】-----

(1) 町歩きをして、学校や自宅周辺の避難場所や津波がどこまでくるのか、などを地図にメモしてくる。



【地図-01】学区の地図
(例: Google mapなどを活用)

(2) 学習課題(避難場所を地図にまとめる)を把握する。

【展開】

- (1) 自分の調べた内容や、「ハザードマップ」を参考にして、地区ごとの避難場所を白地図に書き込んでいく。



【資料-01】[12枚]
尾鷲市防災マップ

→単に避難場所を書き込むだけでなく、家族で話し合った避難場所や、登下校中の避難場所についても書いていく

- (2) 東日本大震災において、ハザードマップに記された浸水域を大きく超える範囲が浸水したことを理解し、「想定にとらわれない」を復習する。



【資料-17】[2枚]
想定を超えた津波による浸水域

→ハザードマップに記された浸水域の外に住んでいた人がたくさん亡くなっていることをおさえる

- (3) ハザードマップ以上の津波がきた場合の避難場所を考え、地図に書き込む。
→できる限り安全と思われる場所まで避難すること「最善を尽くせ」をおさえる

【まとめ】

- (1) お互いの物を見合い、情報を交流する。
- (2) ハザードマップをもとに、自分の避難場所が有効かどうかを確認する。
→避難経路についても、安全かどうかを吟味させるようにする
- (3) 学習のまとめの感想をプリントに記入する。

【確認】

- (1) 生活の場面ごとの避難場所を知ることができたか？
- (2) 津波避難のポイントや非常持ち出し品を知ることができたか？

3.2 小学校中学年 (4)

Ⅱ 地震・津波を知る 「津波と普通の波の違いを知ろう」	
指導する学年	小学校4年生
指導する時間 (時数)	特別活動・学級活動(1時間)
教育目標	津波の破壊力や流れの速さなどの特徴について理解する。
資料する資料	【動画-01】2011年東日本大震災 【動画-04】津波と普通の波の違い 【動画-06】50cmの津波の破壊力 【写真-03】1993年北海道南西沖地震による奥尻島の被害 【資料-05】津波の速さと波長 【資料-06】津波が高くなる理由
関連する 教科・行事等	【行事】避難訓練

【導入】-----

- (1) 津波の動画を見て気付いたことや、津波について知っていることを発表する。

→津波の流れの速さや強さに注意して見るように示唆し、津波が来ると街中はどのようになってしまうのかをおさえる

- (2) 学習課題を把握する。



【展開】-----

- (1) 津波と普通の波との違いを予想し、話し合う。

- (2) 津波と普通の波との違いについての動画を見て、予想が当たっていたかどうかを確認し、津波の特徴について理解する。

→津波と普通の波の大きな違いは「波長」

→津波は水の塊が街中に襲ってくる



- (3) 過去の津波による被害を見て、津波の高さを確認する。また、津波が高くなる理由について理解する。



【写真-03】[13枚] 1993年
北海道南西沖地震による奥尻島の被害



【資料-06】[4枚]
津波が高くなる理由

- まずは、津波被災地の写真を見せて、とても高い津波が襲来する可能性があることを指摘する
→次に、リアス式海岸で津波が高くなる理由をおさえる

- (4) 人や車、建物が流されていた様子を思い出させながら、津波の流れの強さを確認する。

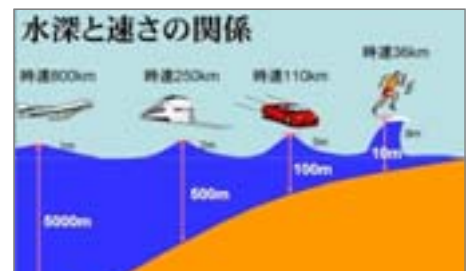
- 動画を見て、50cm の津波でも、とても大きな破壊力があることを復習する



【動画-06】[1:51]
50cmの津波の破壊力

- (5) 津波の速さがどれくらいであったかを思い出させながら、津波の速さを確認する。

- 海が浅くなると速さが遅くなっていくこと、海岸沿いでも津波はとても速いことをおさえる



【資料-05】[2枚]
津波の速さと波長

【まとめ】-----

- (1) 学習して気付いたことをプリント等に記入する。
- (2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

【確認】-----

- (1) 津波と普通の波の違いを知ることができたか？
- (2) 津波の速さや破壊力を知ることができたか？

3.2 小学校中学年 (5)

Ⅱ 地震・津波を知る 「地震・津波のおき方を知ろう」	
指導する学年	小学校4年生
指導する時間 (時数)	特別活動・学級活動(1時間)
教育目標	地震や津波のおこり方を知り、日本では大きな地震や津波が発生しやすいことを理解する。
資料する資料	【動画-03】地震・津波が起きるメカニズム 【資料-02】地震分布とプレートの関係 【写真-01】1944年昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害 【資料-03】日本周辺のプレート 【写真-04】2004年新潟県中越地震による被害
関連する 教科・行事等	【小4社会科】安全な暮らしとまちづくり 【行事】避難訓練

【導入】-----

(1) 大きな地震による被災写真を見て、地震の恐ろしさを知り、感想を発表する。



【写真-01】[17枚] 1944年
昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害



【写真-04】[11枚] 2004年
新潟県中越地震による被害

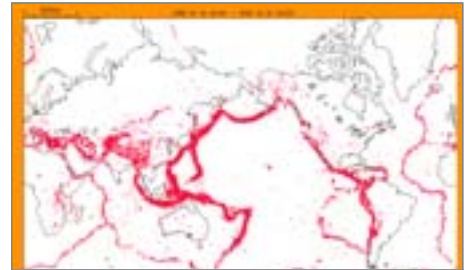
→建物が壊れてしまうだけでなく、地面も崩れてしまうことを確認する

(2) 学習課題を把握する。

【展開】

- (1) 地震分布を示す資料を見て、地震はどの辺で起きていたのかを考える。

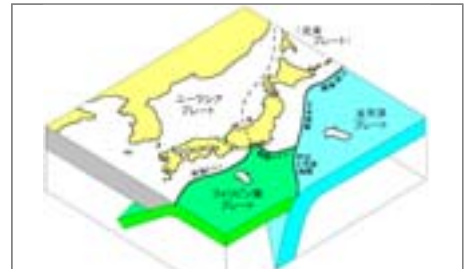
→プレートの境界付近で、大きな地震がたくさん発生していることをおさえる



【資料-02】[4枚]
地震分布とプレートの関係

- (2) 地震が起きる原因を知る。

→プレートは常に動いており、ひずみがたまって、プレートの境界がずれたり、崩れたりすると地震が起こる



【資料-03】[1枚]
日本周辺のプレート

- (3) 日本列島は大きな地震が起こりやすいことを知る。

→日本列島の周辺には、4つのプレートが重なり合っているため、地震が多いことをおさえる

- (4) 地震によって津波が起きる原因を知る。

→地震によって生じた海水面の差が津波になることをおさえる



【動画-03】[0:12]
地震・津波が起きるメカニズム

【まとめ】

- (1) 学習して気付いたことをプリント等に記入する。
- (2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

【確認】

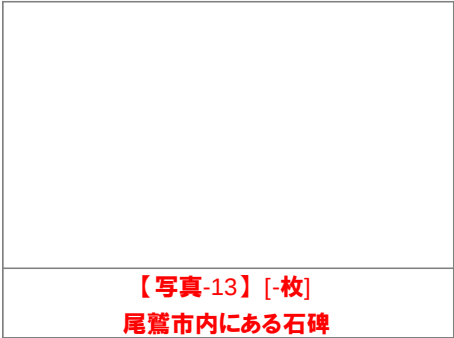
- (1) 地震、津波のおこり方を知ることができたか？
- (2) 日本では大きな地震、津波が起きやすい理由を知ることができたか？

3.2 小学校中学年 (6)

Ⅲ 地域の津波被害を考える 「過去の津波被害を知ろう」	
指導する学年	小学校4年生
指導する時間 (時数)	特別活動・学級活動(1時間)
教育目標	東紀州における津波の歴史と津波の被害について調べ、進んで避難しようとする態度を育てる。
資料する資料	【写真-01】1944年昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害 【写真-13】尾鷲市内にある石碑 【資料-07】尾鷲市の過去の地震・津波被害 【資料-08】今後30年間の地震発生確率
関連する 教科・行事等	【小3社会科】1 ④もっといろいろ知りたいね 1 学校のまわり

【導入】-----

(1) 津波に関する石碑の写真を見て、これらを見たことがあるかを話し合う。



→津波が襲来した際に、身を守るためには何をしたらよいのかを考える

(2) 学習課題を把握する。

【展開】

- (1) 津波の歴史年表を見て、過去に襲来した津波について調べ、気付いたことを発表する。

→三重県に襲来した津波をピックアップしてみる

→津波はどれくらいの間隔でやってきているのか、津波による被害者はどれくらいかなどをおさえる

●尾鷲市における主な津波災害

尾鷲市においては、昭和半葉に3回、津波による大きな被害を受けました。特に昭和19年12月7日に発生した東南海地震による津波の被害が大きく、死者・行方不明者65人、被害した家屋118棟、全壊・半壊家屋1,233棟、浸水家屋2,317棟に達しました。この時の津波の最高は、最大で6mにもなりました。

津波	発生年月日	被害状況(死者・行方不明者)	被害状況(家屋)	被害状況(家屋)	被害状況(家屋)
東南海地震津波	昭和19年12月7日	65人	118棟	1,233棟	2,317棟
熊本地震津波	昭和27年12月21日	—	24棟	—	377棟
フィリピン津波	昭和39年6月23日	—	8棟	178棟	799棟



【資料-07】[2枚]

尾鷲市の過去の地震・津波被害

- (2) 過去の津波によって被災した尾鷲市の様子を確認する。

→津波が来ると街は壊滅的な被害を受けてしまうことを確認する



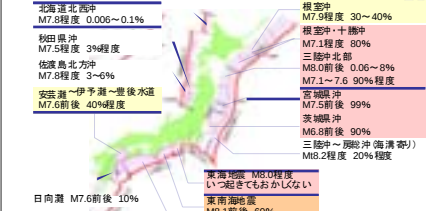
【写真-01】[17枚] 1944年

昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害

- (3) 今後、尾鷲市に被害が生じると予測されている地震・津波の発生確率を確認する。

→近い将来、避難を必要とするような津波が襲来する可能性が高いことを知り、避難しなければならないことをおさえる

海溝型地震の長期評価(今後30年以内)



【資料-08】[3枚]

今後30年間の地震発生確率

【まとめ】

- (1) 学習して気付いたことをプリント等に記入する。

- (2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

→近い将来、避難を必要とするような津波が襲来する可能性が高いことを知り、避難しなければならないことをおさえる

【確認】

- (1) 東紀州における津波の歴史と被害について知ることができたか？

- (2) 今後発生が予想されている地震・津波を知り、進んで避難しようという態度をもつことができたか？

3.2 小学校中学年 (7)

III 地域の津波被害を考える 「津波から地域を守る対策を知ろう【1】」	
指導する学年	小学校4年生
指導する時間 (時数)	特別活動・学級活動(1時間)
教育目標	津波から人や町を守るための施設や訓練について調べ、進んで避難しようとする態度を育てる。
資料する資料	【写真-07】2011年東日本大震災による釜石市の被害 【写真-10】ソーラー式避難誘導灯 【写真-08】横引ゲート、水門、防潮堤防 【写真-11】総合防災訓練の様子 【写真-09】津波監視カメラ 【資料-09】津波・避難情報、緊急地震速報、Jアラート
関連する 教科・行事等	

【導入】-----

- (1) 尾鷲市内にある水門や防波堤などの写真を見て、これらを見たことがあるか話し合う。

→これらの施設は、津波による被害を小さくするためにつくられたものであることをおさえる



【写真-08】[9枚]
横引ゲート、水門、防潮堤

- (2) 岩手県釜石市に整備されていた防潮堤が、東日本大震災の津波によって破壊されてしまったことを確認する。

→尾鷲市には釜石市のような防災施設はないことをおさえる

→これほど大きな施設があっても、津波は防ぎきることができないことをおさえる



【写真-07】[17枚] 2011年
東日本大震災による釜石市の被害

- (3) 学習課題を把握する。

【展開】

(1) 防波堤などのほかに防災施設には、どのようなものがあるのかを調べる。



【写真-09】[4枚]
津波監視カメラ

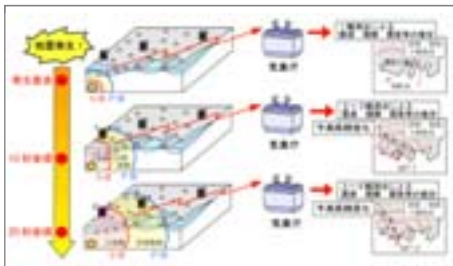


【写真-10】[1枚]
ソーラ式避難誘導灯

→写真を見せて、それらがどんな役割なのかを確認する

- ・ソーラ式避難誘導灯：太陽光発電して、夜間に避難する場合など足下を照らしてくれる
- ・津波監視カメラ：海岸などにカメラを設置して、津波を監視

(2) 命を守るための人々の取り組みについて知る。



【資料-09】[4枚]
津波・避難情報、緊急地震速報、Jアラート



【写真-11】[19枚]
総合防災訓練の様子

①防災設備だけでは、津波の被害を防ぎきれないことを知らせる。

→防ぎきれないので避難が必要になることをおさえ、避難を促す情報として、緊急地震速報・津波情報・避難情報を紹介する

②日頃から身を守るための訓練をすることが必要であることを知らせる。

→学校だけでなく、地域で開催される訓練にも積極的に参加することを促す。

【まとめ】

(1) 学習して気付いたことをプリント等に記入する。

(2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。

→津波から人々を守るための施設がたくさんあるけれど、自分が避難しなければ助からないことをおさえる

【確認】

(1) 津波から人々を守るための施設や工夫を知ることができたか？

(2) 津波から命を守るためには、訓練に参加することが大切であることを知ることができたか？